

東京都の**無料!!**

# 省エネルギー診断のススメ

省エネ＝経費削減＝CO<sub>2</sub>削減



## 東日本大震災の影響に伴う電力不足による 節電ご協力をお願い

東京都では、都自身の省エネ・節電の取組を徹底しています。都民・企業の皆様におかれましても、節電の徹底をお願いします。



クール・ネット東京

財団法人 東京都環境整備公社  
東京都地球温暖化防止活動推進センター

財団法人東京都環境整備公社が、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、東京都知事から東京都地球温暖化防止活動推進センターとして指定を受け、平成20年4月から活動を開始しました。

## 省エネ診断の目的

省エネ診断や運用改善支援を通じて、エネルギー使用の無駄をなくし「**経営に優しいコスト削減**」と「**環境にやさしいCO<sub>2</sub>削減**」の両立を**無料**で支援する事業です。

### 省エネ診断

技術専門員が事務所へ直接お伺いし、電気やガス等のエネルギーの使用状況や設備の運用方法を確認し、事業所に適した改善策を提案します。

### 運用改善支援

省エネ診断に加え、新たな投資を抑えた省エネ対策として、既存設備の使用方法を改善する技術支援を現地で行います。



省エネルギー対策の推進は、今般の電力不足だけでなく、地球温暖化対策を進め低炭素型社会を実現する上でも不可欠です。

**その第一歩として、省エネ診断をオススメします!**

## 東京都の取組

### ● 2006年12月「10年後の東京」

2020年までに温室効果ガスの排出量を、2000年比で25%削減することを目指す

### ● 2008年3月「環境基本計画」

世界で最も環境負荷の少ない都市を目指す

### ● 2008年6月「環境確保条例」改正

大規模事業所には、「総量削減義務と排出量取引制度」の導入。中小規模事業所には、「地球温暖化対策報告書制度」の導入等。2010年4月施行

### ● 2009年4月「環境減税」・「導入推奨機器」開始

自主的な省エネ努力へのインセンティブとして、独自に中小企業者向け省エネ促進税制を開始

### ● 2010年4月 地球温暖化対策報告書制度の開始

### ● 2010年4月「省エネ促進・クレジット創出プロジェクト」開始

第4回募集(募集最終回)の受付は、11月を予定しています。公社が実施する省エネルギー診断を受診して第4回募集に申請される場合は、9月末までに受診を済ませられますようお願いいたします。(10月以降に省エネルギー診断を受けられる場合は、第4回募集の申請に間に合わない可能性があります。)

「中小規模事業所省エネ促進・クレジット創出プロジェクト」第1回、第2回募集結果

	第1回	第2回
交付決定件数	41件	93件
助成金交付総額(予定)	約13億4千万円	約29億9千万円
CO <sub>2</sub> 削減見込率	14.1%	14.4%
都内中小クレジット創出見込量(5年間)	約8,600t	約17,200t



## 省エネ診断を受診した場合のメリット

- その1 経費削減へ直結
- その2 地球温暖化防止への貢献
- その3 環境企業としてイメージアップ
- その4 設備導入費の一部助成を受けられる(条件付)



## 22年度提案実績

- 平均光熱水費削減額=209万円/年
- 平均CO<sub>2</sub>削減量=51t-CO<sub>2</sub>/年
- 平均CO<sub>2</sub>削減率=約15%

年間総CO<sub>2</sub>削減量では、  
約2,530,000本のスギが  
1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に  
相当する提案ができました。



### ～試算条件～

林齢:50年  
1本当たりの二酸化炭素吸収量:約14kg/年  
資料:林野庁ホームページより

## 工場・事務所での改善提案事例

エネルギー使用量が  
原油換算で100～  
300kl規模の例

### 事務所の照明設備の照度適正化

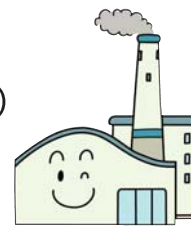
⇒コスト削減額 約90万円! (CO<sub>2</sub>削減量=19t-CO<sub>2</sub>/年)

### 事務所の空調機を高効率機器に更新

⇒コスト削減額 約188万円! (CO<sub>2</sub>削減量=42.7t-CO<sub>2</sub>/年)

### 工場の蒸気の管理

⇒コスト削減額 約75万円! (CO<sub>2</sub>削減量=9.4t-CO<sub>2</sub>/年)



## 受診された事業所様の声

実現可能な提案を  
してもらい、すぐに取り組を  
始めてみたところ、  
2ヶ月続けて電力使用量が  
減りました!

(金属加工工場様)

報告書に基づき  
即取り組み、社員全員  
の省エネ意識が変わって  
きました。

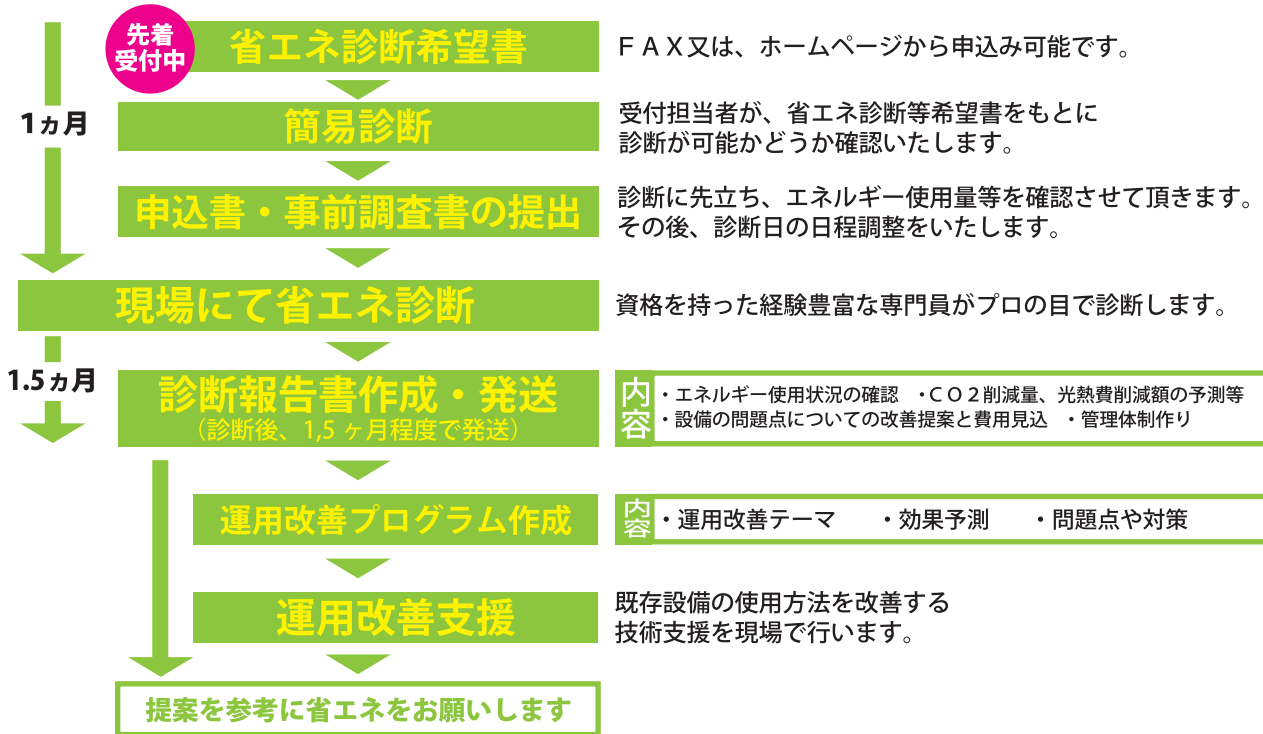
(金属加工業様)

第三者からご指摘  
いただき大変参考に  
なりました。ビル管理  
会社と連携した省エネに  
意欲がわきました。

(オーナー様)



# 省エネ診断のフロー



# 省エネ診断のココが知りたい!

**Q1** 診断時間はどのくらい要しますか?

**A1** 事務所の規模や設備機器数にもよりますが、事務所・ビルでは半日程度、工場では3時間～6時間程度です。開始時間は、相談の上で決定します。

**Q2** 診断後に何か義務が発生しますか?

**A2** 提案を参考に省エネをすすめて頂きたいのですが、設備導入などの義務はありません。翌年度、アンケート調査にご協力いただきます。

## [ 無料診断対象事務所の条件 ]

①都内の事務所であること。②年間エネルギー使用量が、原油換算量で概ね15kL(年間光熱水費でおよそ100万円)以上かつ1500kL未満であること。ただし、住居の用に供する部分等を除く。③国又は地方公共団体並びに主たる出資者若しくは出えん者が国、地方公共団体でないこと。④省エネ診断による省エネ効果が見込めること。⑤同一事業者が、同じ年度内に申し込んでいないこと。⑥テナントの場合は要相談。⑦過去3年以内に東京都又は(財)省エネルギーセンターの実施する省エネ診断を受診していないこと。

※ただし、事業所で大規模な改修があった場合など、省エネ対策の状況が大きく変化した場合並びに中小規模事業所省エネ促進・クレジット創出プロジェクトの申請を前提とする場合は対象とすることができる。

## [ 省エネ診断のお問い合わせ先 ]



財団法人 東京都環境整備公社  
 東京都地球温暖化防止活動推進センター (クール・ネット東京)  
 〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 東京都庁第二本庁舎 9階中央  
**TEL:03(5388)3439 FAX:03(5388)1384**  
 ホームページアドレス：<http://www.tokyo-co2down.jp/>  
 メールアドレス：[tccca@kankyo.metro.tokyo.jp](mailto:tccca@kankyo.metro.tokyo.jp)